

2017年11月22日

株式会社博報堂DYメディアパートナーズ

生放送のテレビ番組と連動し、CM効果を高める広告配信システム

「フレキシブルアド」を開発、リリースを開始

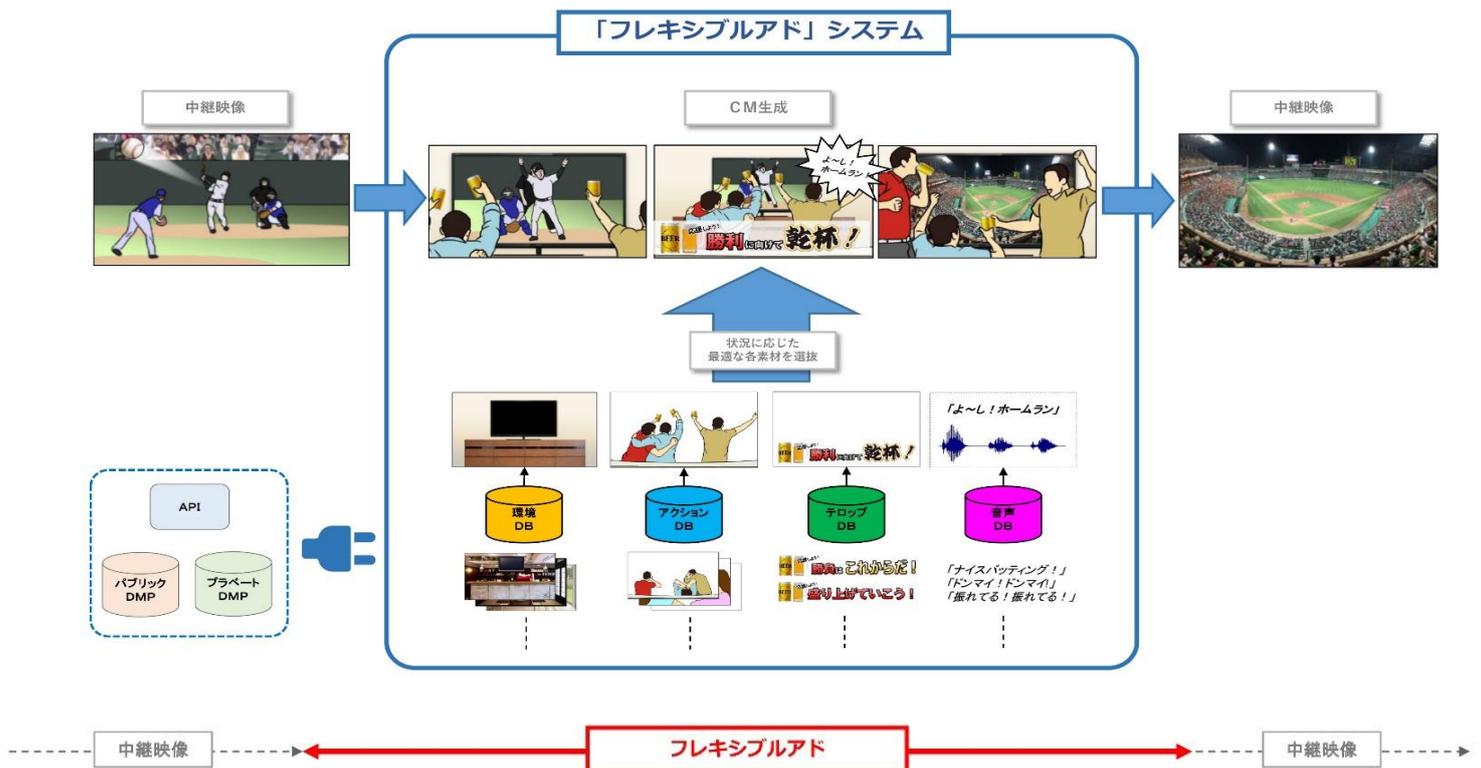
株式会社博報堂DYメディアパートナーズ(本社：東京都港区、社長：矢嶋弘毅、以下 博報堂DYメディアパートナーズ)と株式会社東通(本社：東京都港区、社長：田代冬彦、以下 東通)は、変化するテレビ視聴環境に対応し、広告主のマーケティングコミュニケーション上でのテレビ広告の更なる価値化を目指すため、生放送番組連動型テレビ広告配信システム「フレキシブルアド」を開発し、11月から放送局向けにシステムのリリースを開始致します。

「フレキシブルアド」は、バーチャル映像合成技術を活用することにより、スポーツ中継などの生放送のテレビ番組をCMによって中断させることなく、そのまま継続して視聴することを可能にした広告配信システムです。

事前に複数のCM素材を入稿し、その中から番組の展開に最も合ったCM素材を選択することができるだけでなく、CMの背景、テロップ、音声といった素材を組み合わせることで瞬時にCMを生成することが可能になります。

また、SNS等のリアルタイムの情報・データもCMに反映させることができるため、より柔軟な広告表現も可能になります。

これにより広告主は、番組と連携し、かつ番組の展開に合わせた最適なCMを視聴者に提供することが可能になるため、より高い広告効果が期待できます。



博報堂D Yグループでは、「フレキシブルアド」を積極的に活用・展開するとともに、今後放送局だけでなく、広告会社の垣根を越えてユニバーサルに利用できるシステムを目指していきます。

また、より効果の見えるテレビ広告手法となる様、今後テレビの視聴ログデータや、各種生活者DMPとの連携、CM自動生成の確立等を視野に入れ、引き続き開発を進めて参ります。

なお、「フレキシブルアド」の導入相談及びサンプル展示等に関しましては、博報堂D Yメディアパートナーズに常設されているスマートメディアラボ「メディアルーム」にて実施して参ります。



博報堂D Yメディアパートナーズは、激化するメディアビジネスの転換期に即応するために、社内外の人材や組織的な知見などのリソースを最適活用し、新しいメディアビジネスの創造を積極的に行って参ります。

※「フレキシブルアド」は、博報堂D Yメディアパートナーズと東通が2009年に共同開発した「プレイオンアド」をベースにシステム改良を重ねたサービスです。

■ 本件に関する報道機関からのお問い合わせ

博報堂D Yメディアパートナーズ	広報	岡本・彭（ぺん）	03-6441-9347
------------------	----	----------	--------------

■ 本件に関する業務のお問い合わせ

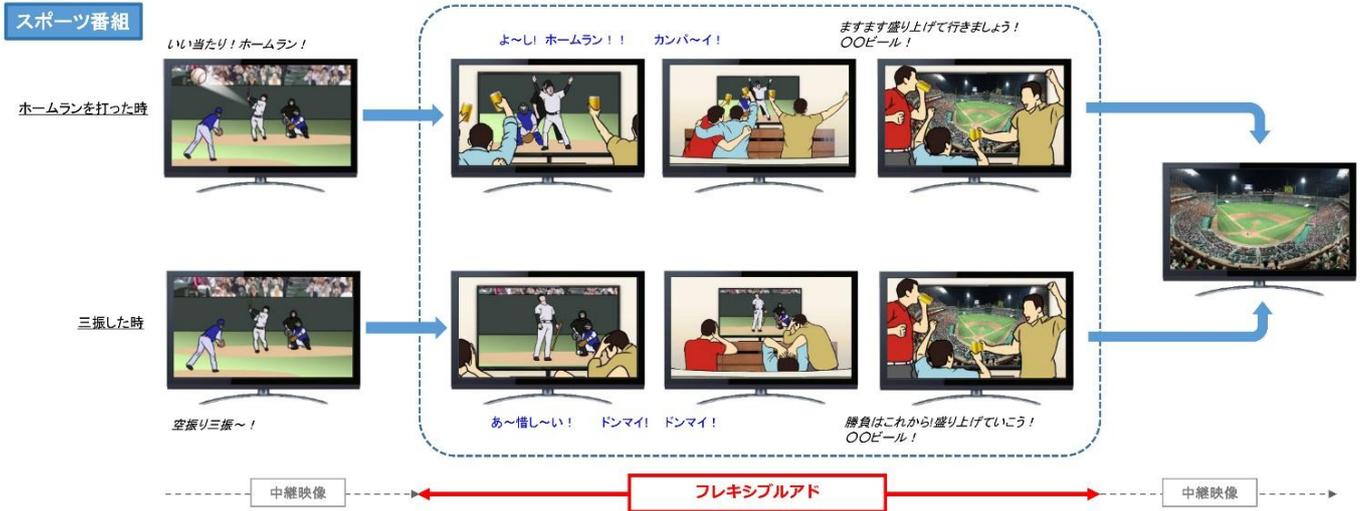
博報堂D Yメディアパートナーズ	動画ビジネス局	飯塚・内藤	03-6441-9744
------------------	---------	-------	--------------

博報堂D Yメディアパートナーズ	スマートメディアラボ	今野・田代	03-6441-9794
------------------	------------	-------	--------------

活用事例

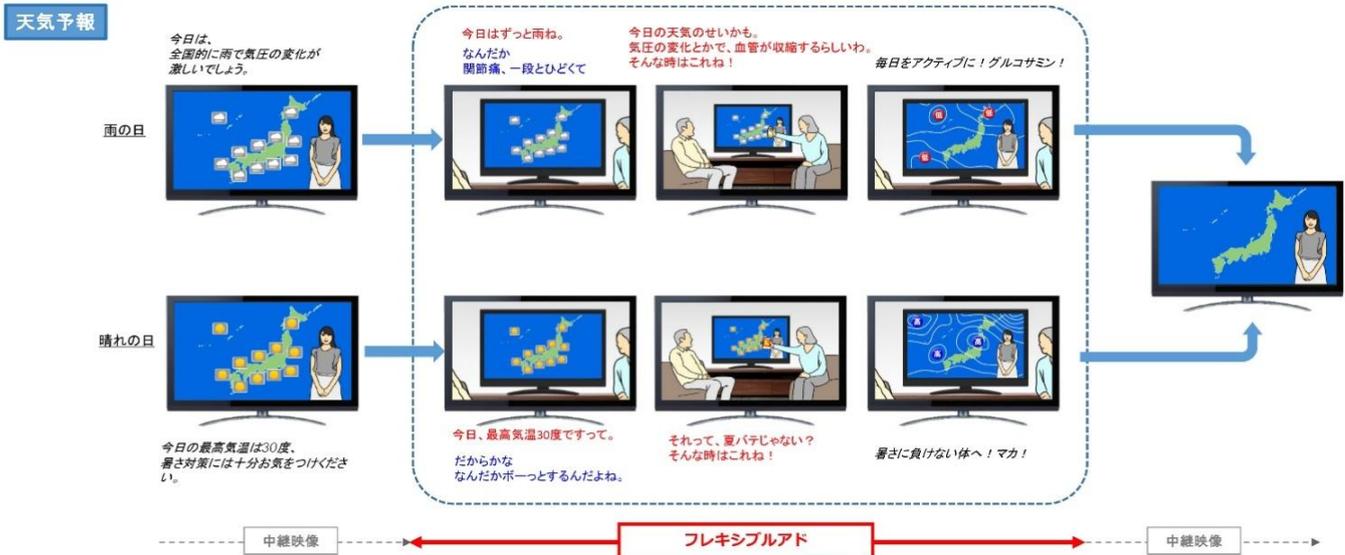
① 野球中継のゲームの進行状況にあわせた事例

例：(上段)ホームランを打った時 (下段)三振した時



② 天気予報やお天気コーナーと連動し、直前の天気の状況に合わせた事例

例：(上段)雨の日 (下段)晴れの日



③ 視聴者参加型の番組など、番組の進行状況に合わせた事例

例：ランキング番組との広告連動

